

MP3/WMA (CD-R/RW)

MP3/WMAについて	88~93
MP3/WMAプレーヤーを使う	94~103
各部の名称とはたらき	94
表示部(再生画面)について	95
MP3/WMAを聞く	96、97
MP3/WMAモードを終了する	97
MP3/WMAディスクを取り出す	97
操作パネル上のボタンにて1ファイルずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	98
早戻し/早送りをする	98
好きなフォルダを選ぶ	99
再生モードを選択する (リピート/ランダム/スキャン再生)	100、101
トラックリストより好きなファイル(曲)を選び 再生させる	102、103

MP3/WMAについて(1)

■MP3とは？

MP3 (MPEG Audio Layer 3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

■WMAとは？

WMA (Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

■再生可能なMP3/WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio* ¹
対応サンプリング周波数	☞ 92ページ参照	☞ 93ページ参照
対応ビットレート* ²		

* 1印：●DRM(デジタル著作権管理)システムのWMAファイルやプロテクト録音(ライセンス管理)されたWMAファイルは再生できません。

●Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。

* 2印：●一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。

●VBRに対応しています。

●フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

■使用できるメディアについて

●MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。

※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

●一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■ファイル名について

●MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”(*1)/WMAの拡張子“WMA”(*1)が付いたものだけです。

●MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。

* 1)：拡張子名“MP3”/WMAは大文字でも小文字でもかまいません。



オーディオ

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMAファイル以外に、“MP3”/“WMA”の拡張子を付けないでください。MP3/WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角32文字、2.xは半角64文字です。
 - ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
 - 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。
- ※本機が対応しているID3タグはトラック名/アーティスト名/アルバム名です。
 ※WMAタグの表示可能文字数は半角32文字です。
 ※対応バージョンはVer 1.0/1.1/2.2/2.3となります。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

※MP3/WMAファイルをDVDに書き込みしたディスクの動作保証はしていません。

■MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。



アトハイブ

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)

■MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

■使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1(*)およびレベル2(*)です。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。

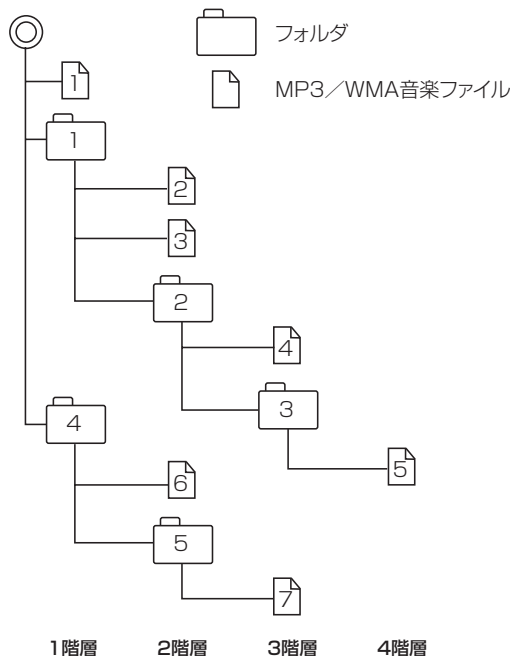
上記フォーマット(*)以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名/ファイル名文字数 : 全角32、半角32文字
- フォルダ名/ファイル名使用可能文字 : A~Z(全角/半角)、0~9(全角/半角)、_(アンダースコア)、JIS第一水準
- 1フォルダ中の最大ファイル数 : 255
- 1メディア内の最大ファイル数 : 999
- 最大フォルダ数 : 255
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト/m3u/MP3iフォーマット/MP3 PROフォーマット/ディエンファシスには対応していません。

MP3/WMAについて(2)

階層と再生順序のイメージ



- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、**1** → **2** → **3** → **4** → **5** → **6** → **7** の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

■MP3/WMAファイルの作り方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

□インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り(料金支払いなど)、そこから指示通りにダウンロードを行いません。

※著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

□音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。12cmの音楽CD1枚(最大74分収録/データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。

□CD-R/CD-RWに書き込む場合

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。



ヘッドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3/WMAファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。

MP3/WMAについて(3)

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数 (kHz)		
16.000	—	○
22.050	—	○
24.000	—	○
32.000	○	—
44.100	○	—
48.000	○	—
ビットレート (kbps)		
8	—	○
16	—	○
24	—	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	—	○
160	○	○
192	○	—
224	○	—
256	○	—
320	○	—
VBR	○	○

※VBR：可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数 (kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	—	○
ビットレート (kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	—	○
320	—	○
VBR	—	○

※VBR：可変ビットレート

●表示可能なID3/WMAタグ

Song Title、Artist Name、Album Title

※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。

●フォルダ番号、トラック番号について

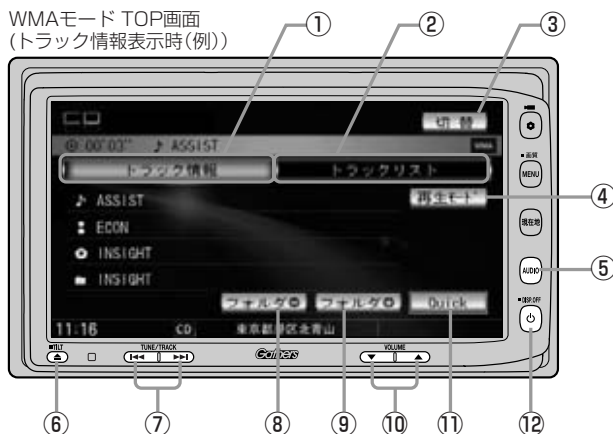
演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64kbps以下のビットレートで記録されたMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- WMA9 Professional/WMA9 Losslessには対応していません。

MP3/WMAプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき

WMAモード TOP画面
(トラック情報表示時(例))



① **トラック情報** ボタン

トラックの詳細情報を表示します。

② **トラックリスト** ボタン

トラックリストを表示し、ファイル(曲)の選択が可能です。(102、103ページ)

③ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。(317ページ)

④ **再生モード** ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。(100、101ページ)

⑤ **AUDIO** ボタン

AV MENU画面を表示します。
※ナビゲーション画面/FM/AM/Digital TV/
Music Rack/SD/iPod/USB/VTRモード
からMP3/WMAモードに切り替えるときに使用
します。

⑥ **TILT** ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる/
取り出すときに使用します。
(96、97ページ)

⑦ **トラック** ボタン(◀▶)

好きなファイル(曲)を選びます。また、このボタンを
押し続けると早戻し(◀◀)/早送り(▶▶)します。
(98ページ)

⑧ **フォルダ** ◀ ボタン

前のフォルダに戻ります。

⑨ **フォルダ** ▶ ボタン

次のフォルダに進みます。

⑩ **VOLUME** ボタン

音量の増減を調整します。
▼: 音量減 ▲: 音量増

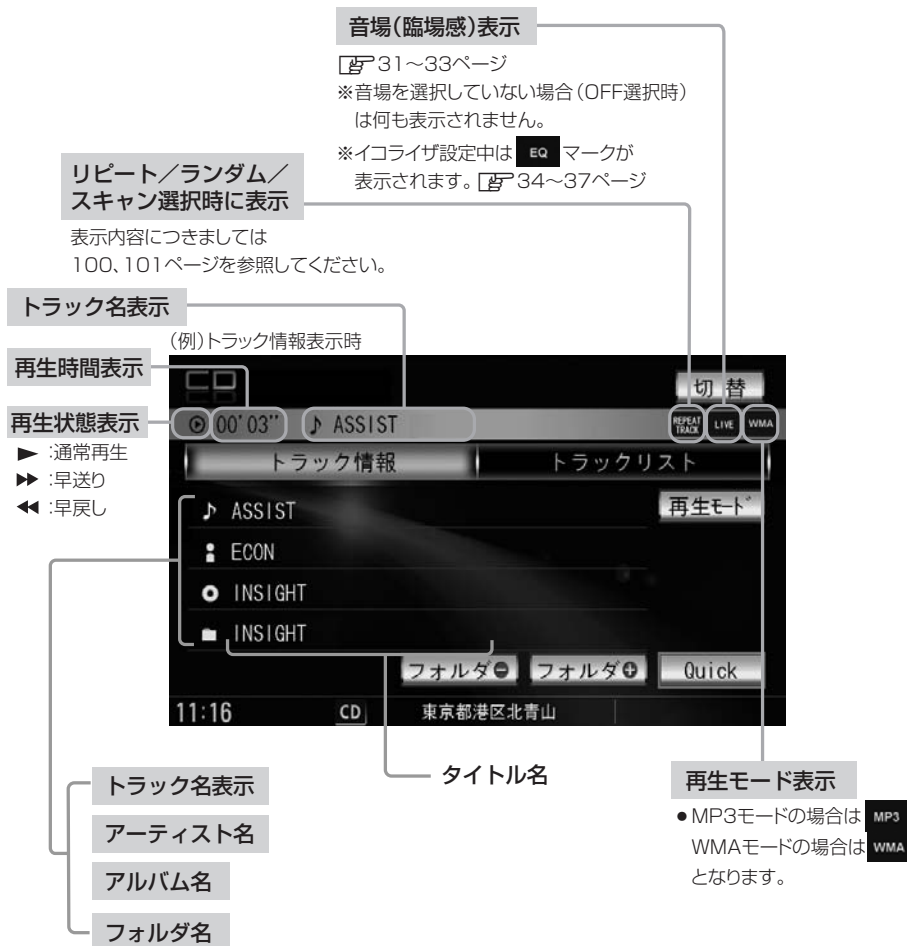
⑪ **Quick** ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。
(316ページ)

⑫ **電源** ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

表示部(再生画面)について



MP3/WMA
 【各部の名称とはたらき】 / 【再生画面について】

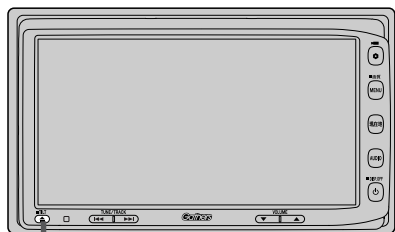


アドバース

- トラック名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名/フォルダ番号・フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
 ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- アーティスト名/アルバム名が記録されていないディスクの場合は、“No Title”と表示されます。

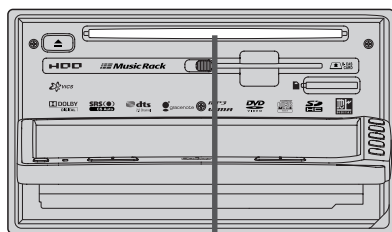
MP3/WMAプレーヤーを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILT ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 ディスク挿入口

MP3/WMAを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1 パネルの **TILT** ボタン (▲) を押す。

: ディスプレイが開きます。



ディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。

2 ディスク挿入口にMP3またはWMAのデータが入ったCDを挿入する。

: 自動でディスプレイが閉じ、MP3またはWMAの再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ 前回MP3/WMAモード画面でOFF (オーディオモードを終了) していた場合

① パネルの **電源** ボタン (⏻) を押す。

: 前回のつづきからMP3/WMAの再生を始めます。



① **電源** ボタン (⏻)

□ ナビゲーション画面または前回MP3/WMAモード以外のオーディオモード画面の場合

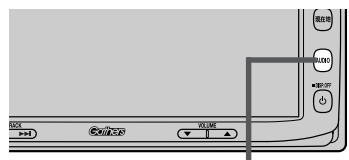
① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。
 : AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ AUDIOソース画面のときは…
 ②へ進んでください。

□ ラストモード*画面のときは…
 もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。
 : AV MENU画面が表示されます。

* : 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

② 画面の **CD** ボタンをタッチする。
 : MP3またはWMAの再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン

AV MENU画面 (例)



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 🖥️ 「画質調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



MP3/WMAの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

MP3/WMAモードを終了する

1 パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。
 : 画面に“OFF”と表示されMP3/WMAの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(🔌)



MP3/WMAディスクを取り出す

1 80ページ **CDを取り出す** の手順 **1**、**2** にしたがって操作してください。

MP3/WMAプレーヤーを使う(3)

操作パネル上のボタンにて1ファイルずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

- 1** パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。
: 前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。*

※1回押した場合は再生中のファイル(曲)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

●画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

▶「**トラックリストより好きなファイル(曲)を選び再生させる**」102、103ページ

●* : トラック再生開始3秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

早戻し/早送りをする

- 1** パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

: 再生中のファイル(曲)の早戻し/早送りをします。

再生状態表示

▶ : 通常再生

▶▶ : 早送り

◀◀ : 早戻し



1 **トラック** ボタン

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドバイス

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。

好きなフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 画面の **フォルダ⊖** / **フォルダ⊕** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダ⊖ ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ⊕ ボタンをタッチする。



MP3/WMAプレーヤーを使う(4)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1 画面の再生モード ボタンをタッチする。

: 画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 2 で選択した再生モードがマーク表示されます。

WMAモード TOP画面(例)

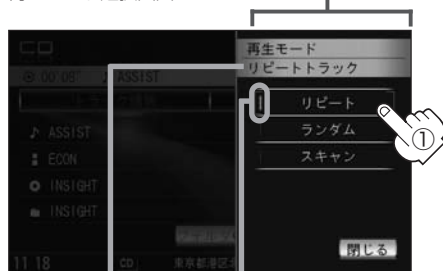


2 再生したいモード(リピート/ランダム/スキャン ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① リピート ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

選択時点灯

: 表示灯点灯し、リピート再生されます。

- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの
リピート再生

(表示灯点灯/
TOP画面のとき REPEAT
MARK表示有)

今聞いているフォルダの
リピート再生

(表示灯点灯/
TOP画面のとき REPEAT
FOLDER MARK表示有)

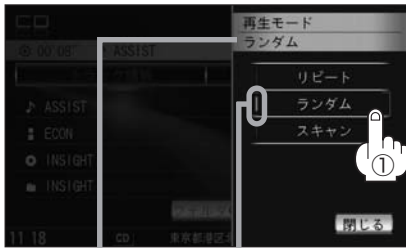
通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯/マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

選択時点灯の状態を表示

現在再生しているフォルダのランダム再生となります。

：表示灯点灯し、選択中フォルダ内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

選択中フォルダ内の曲をランダム再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき **RANDOM** マーク表示有)



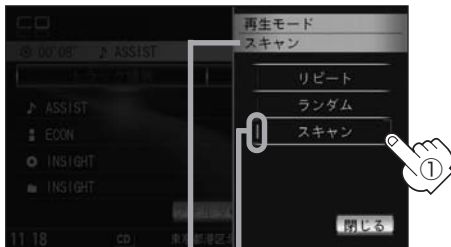
通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

選択時点灯の状態を表示

今聞いているディスク内の曲のスキャン再生となります。

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

ディスク内の曲をスキャン再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき **SCAN** マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



3



- ランダム再生は次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。
- スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。
- TOP画面にマーク表示がある限りそれぞれのモード再生を繰り返します。

MP3/WMAプレーヤーを使う(5)

トラックリストより好きなファイル(曲)を選び再生させる


ファイル(曲)を一覧表示させ、再生させることができます。

WMAモード TOP画面
トラック情報表示(例)

1 画面の **トラックリスト** ボタンをタッチする。

：トラックリストにファイル(曲)が表示されます。



 MP3/WMAモードのTOP画面は選択するボタン(**トラック情報** / **トラックリスト**)によってトラック情報表示/トラックリスト(ファイル(曲))リスト表示となります。

TOP画面(例)

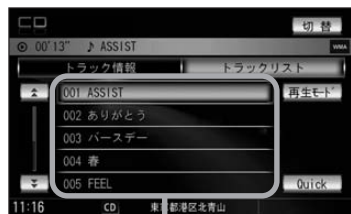


詳細情報表示

トラックリスト
ボタンタッチ

トラック情報
ボタンタッチ

TOP画面(例)



トラックリスト(ファイル(曲))リスト表示

※すでにトラックリスト(ファイル(曲))リスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 再生したいファイル(曲)をタッチする。

：選択したファイル(曲)が再生されます。

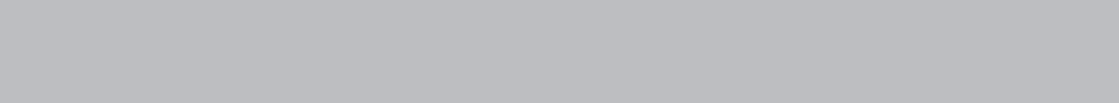
TOP画面
トラックリスト(ファイル(曲))表示時(例)





アドバイス

TOP画面を詳細情報表示に戻したい場合は **トラック情報** ボタンをタッチしてください。
(左記アドバイス参照)

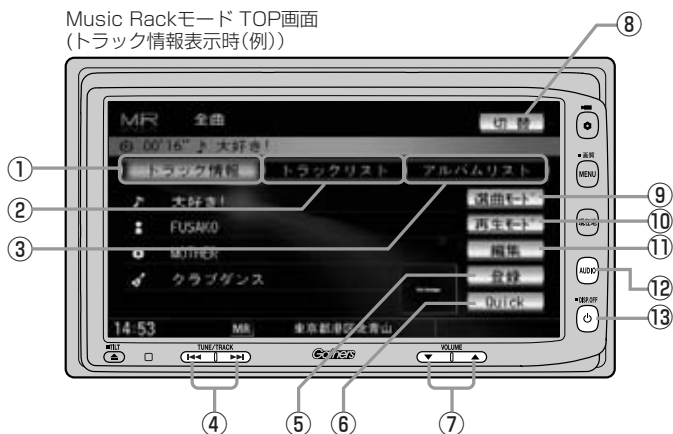


Music Rack

Music Rackを使う	106~143
各部の名称とはたらき	106
表示部(再生画面)について	107
Music Rackを聞く	109
Music Rackモードを終了する	110
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	111
早戻し/早送りをする	111
リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを 選び再生させる	112、113
選曲モードより選択し再生させる	114~121
再生モードを選択する (リピート/ランダム/スキャン再生)	122、123
アルバムリストの編集(曲管理)	124~131
トラックリストの編集(曲管理)	132~137
お気に入り进行管理する	138、139
再生中の曲をお気に入り登録する	140、141
再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを 設定する	142、143

Music Rackを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック情報** ボタン

トラックの詳細情報を表示します。

② **トラックリスト** ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
(112、113ページ)

③ **アルバムリスト** ボタン

アルバムリストを表示し、アルバムの選択が可能です。
(112、113ページ)

④ **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(◀◀)/早送り(▶▶)します。
(111ページ)

⑤ **登録** ボタン

再生中のアルバムまたはトラックをお気に入りへ登録したり、再生中トラックをお好きなジャンル/ミュージックエスコートに変更することができます。
(140~143ページ)

⑥ **Quick** ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。
(316ページ)

⑦ **VOLUME** ボタン

音量の増減を調整します。
▼: 音量減 ▲: 音量増

⑧ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
(317ページ)

⑨ **選曲モード** ボタン

7種類の選曲モード(全曲/アルバム/アーティスト/プレイリスト/ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入り)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。(114~121ページ)

⑩ **再生モード** ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。(122、123ページ)

⑪ **編集** ボタン

アルバムやトラックの編集(表示名やよみがなを変えたり)、ジャンルの変更、再生選択やお気に入り管理などをすることができます。(124~139ページ)

⑫ **AUDIO** ボタン

AV MENU画面を表示します。
※ナビゲーション画面/FM/AM/Digital TV/CD/DVD/MP3/WMA/SD/iPod/USB/VTRモードからMusic Rackモードに切り替えるときに使用します。

⑬ **電源** ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態に)します。また、2秒以上長押しで画面を消します。

表示部(再生画面)について

選択中の選曲モードの内容を表示します。

※選曲モードで **ジャンル** / **ミュージックエスコート** / **お気に入り** 選択時にアルバムや曲の削除、再生選択を行なった場合でも“全曲”表示となります。
選曲モード [P.114ページ]

再生状態表示

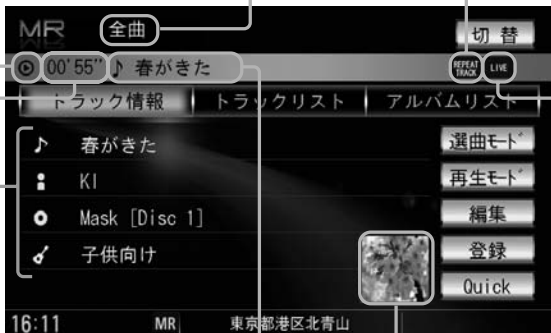
- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し

(トラック情報表示時(例))

リピート/ランダム/スキャン選択時に表示

表示内容につきましては122、123ページを参照してください。

再生時間表示



音場(臨場感)表示

選択中の音場を表示します。
[P.31~33ページ]
※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。
※イコライズ設定中は **EQ** [P.34~37ページ]

トラック名表示

アーティスト名表示

アルバム名表示

ジャンル名表示

ジャケット表示

ジャケット写真を表示させることができます。
[P.68、69ページ]

トラック名表示

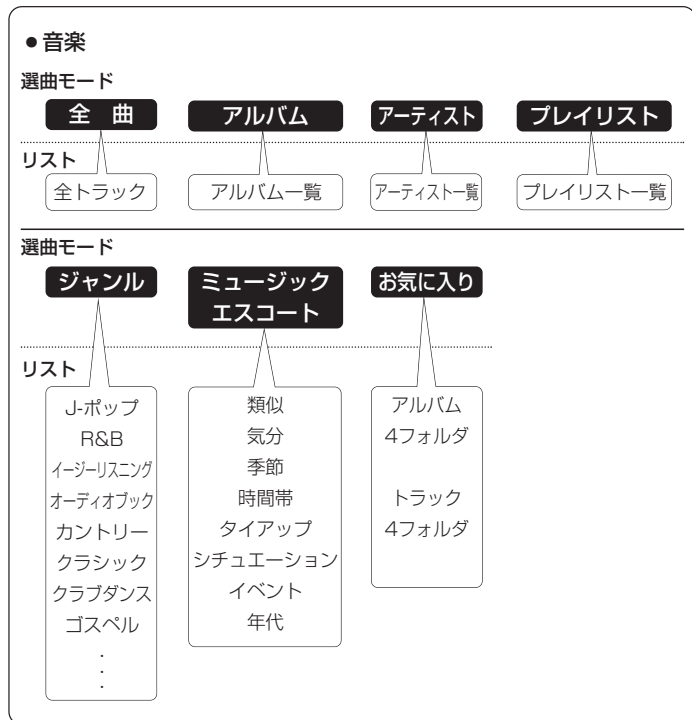


デトハイス

- トラック情報表示のとき、トラック名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています)
- トラック情報表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
※画面上部のトラック名が表示しきれない場合は、トラック情報表示/トラックリスト表示/アルバムリスト表示のどの画面からでもタッチしてスクロールすることができます。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名が記録されていないディスクを録音した場合は、それぞれの表示は“トラック××”/“新規アーティスト”/“新規アルバム△△△△ △△△”と表示されます。
※××にはトラック番号、△にはリッピングした西暦・月・日の数字が入ります。
- 実在と異なるトラック名/アルバム名表示のままリッピングした場合は、異なる情報のまま本機にリッピングされます。
- ジャンル名表示で該当するジャンルがない場合は“その他”と表示されます。

Music Rackを使う(2)

Music Rackイメージ図



★Music Rackに録音*された曲は自動で4種類(アルバム/アーティスト/ジャンル/ミュージックエスコート)の選曲モードに分類され、さらに細かく分かれて管理されます。

選曲モードの各ボタンの中から絞り込んで検索することができるので便利です。

※全曲は全てのトラックを表示します。プレイリストはBeatJam上で作成し、本機に転送した場合に表示されます。お気に入りはお好みの曲だけを集めたオリジナルリストを表示します。

※ミュージックエスコートはMCDB(メディアクリックDB)の楽曲属性DBを利用して曲調によって分別されます。

※*印：録音につきましては「 録音する」48～52ページをお読みください。

※選曲モードでジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りを選択し、再生させているときにアルバムや曲の削除/再生選択を行なうと、トラック情報画面にしたとき選曲モードは自動的に“全曲”となります。(編集前の選曲モードの再生リストを継続しません。)

※録音された音楽CDがGracenoteおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限り
ます。

Music Rackを聞く

※CDまたはパソコンから1曲も本機に録音していない場合、Music Rackを聞くことはできません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回Music Rackモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

①パネルの**電源**ボタン(⏻)を押す。

: 前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① **電源**ボタン(⏻)

- ナビゲーション画面または前回Music Rackモード以外のオーディオモード画面の場合

①パネルの**AUDIO**ボタンを押す。

: AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AV MENU画面のときは…

②へ進んでください。

- ラストモード*画面のときは…

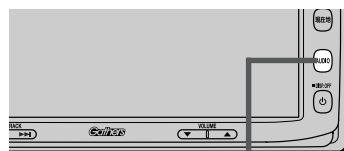
もう一度**AUDIO**ボタンを押す。

: AV MENU画面が表示されます。

*: 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

②画面の**Music Rack**ボタンをタッチする。

: 前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① **AUDIO**ボタン



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

🔊 「音量を調整する」 26ページ

🖥️ 「画質調整のしかた」 27～29ページ

🔊 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



アウドアイコン

Music Rackの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

Music Rackを使う(3)

Music Rackモードを終了する

1

パネルの**電源**ボタン(⏻)を押す。

: 画面に“OFF”と表示されMusic Rackの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1 **電源**ボタン(⏻)



操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



1 トラックボタン



アトハイス

- 再生モードでランダムを選択している場合は順序不同再生となります。
- 画面をタッチしてリストより選択することもできます。

📖 「リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを選び再生させる」 112、113ページ

早戻し/早送りをする

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し/早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。

再生状態表示

▶▶：通常再生

▶▶▶▶：早送り

◀◀◀◀：早戻し



1 トラックボタン



アトハイス

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。**トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続け、リストの始めまたは終わりにくると通常再生になります。

Music Rackを使う(4)

リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを選び再生させる

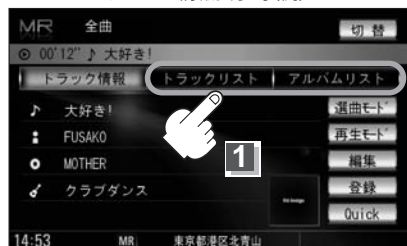
選曲モード(☞P114ページ)で選択したボタン(全曲/アルバム/アーティスト/プレイリスト/ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入り)のトラックまたはアルバムをリストより選択再生させることができます。

1

画面の **トラックリスト** ボタンまたは **アルバムリスト** ボタンをタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

Music Rackモード TOP画面
トラック情報表示時(例)



■ **トラックリスト** ボタンをタッチした場合

: トラックリストが表示されます。



アドハイス

選曲モード(☞P114ページ)で選択したボタン(全曲/アルバム/アーティスト/プレイリスト/ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入り)のトラックリスト表示となります。

■ **アルバムリスト** ボタンをタッチした場合

: アルバムリストが表示されます。

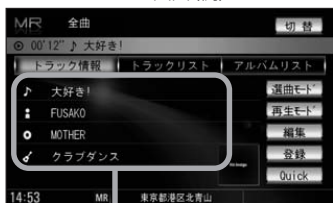


アドハイス

選曲モード(☞P114ページ)で選択したボタン(全曲/アーティスト)のアルバムリスト表示となります。
※選曲モードで全曲/アルバムを選択した場合は、全てのアルバムが表示されます。アーティストを選択した場合は、選択したアーティストのアルバム表示となります。お気に入りアルバムを選択した場合は、選択したお気に入りアルバムのアルバム表示となります。プレイリスト/ジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りトラックを選択した場合はアルバムリストは選択できません。

 Music RackモードのTOP画面は選択するボタン(**トラック情報** / **トラックリスト** / **アルバムリスト**)
によってトラック情報表示/トラックリスト表示/アルバムリスト表示となります。

TOP画面(例)

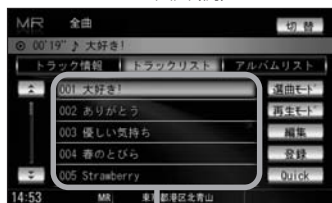


トラック情報表示

トラックリスト
ボタンタッチ →

← **トラック情報**
ボタンタッチ

TOP画面(例)



トラックリスト表示

アルバムリスト
ボタンタッチ

トラック情報
ボタンタッチ

TOP画面(例)



アルバムリスト表示

アルバムリスト
ボタンタッチ

← **トラックリスト**
ボタンタッチ

2 再生させたいトラックまたはアルバムをタッチする。

: 選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(アルバムリスト表示時(例))



 /  ボタンタッチでページ戻し/送り表示



TOP画面をトラック情報表示に戻したい場合は **トラック情報** ボタンをタッチしてください。
(上記アドバイス参照)

Music Rackを使う(5)

選曲モードより選択し再生させる

本機はCDの録音と同時にGracenote音楽認識サービスとMCDB(メディアクリックDB)により、該当する選曲モードの各ボタン(全曲/アルバム/アーティスト/ジャンル/ミュージックエスコート)に自動でふり分けれます。選曲モード内はさらに細かく分かれ管理されます。聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。

※録音された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。

また、選曲モードにはBeatJam上で作成したプレイリストの曲を再生させる“プレイリスト”ボタンや、本機のお好みの曲だけを集めた“お気に入り”ボタンもあります。

※“プレイリスト”ボタンを使用するにはあらかじめPC接続をしてBeatJamからプレイリストを本機に転送しておく必要があります。(PC接続には別売のUSB接続コード&BeatJamが必要です。

▶19ページ)

※“お気に入り”ボタンを使用するにはあらかじめお気に入り登録をしておく必要があります。

▶「再生中の曲をお気に入り登録する」140、141ページ

1

画面の**選曲モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

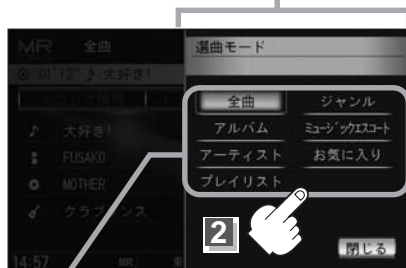
Music Rackモード TOP画面
(トラック情報表示時(例))



2

選曲モードより選曲する方法(**全曲** /
アルバム / **アーティスト** / **プレイリスト** /
ジャンル / **ミュージックエスコート** /
お気に入り ボタン) を選択します。

選曲モード画面



選曲モード



アドドライブ

- リッピングした曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- パソコン上にある音楽ファイルをBeatJamから本機に転送(チェックアウト)する場合は必ずGracenote音楽認識サービスより曲情報の再取得を行なってください。
※曲情報の取得を行ってから転送(チェックアウト)することにより選曲モード(正常にサーチ機能)が使えるようになります。

▶66、67ページ参照

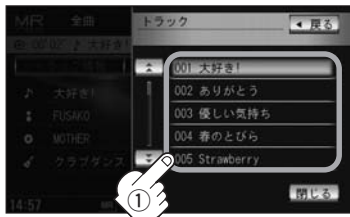
- 選曲モードを選択する前に **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。

■ 全曲 ボタンをタッチした場合

：トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト



：選択した曲を再生します。



アドバース

次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

■ アルバム ボタンをタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

アルバムリスト

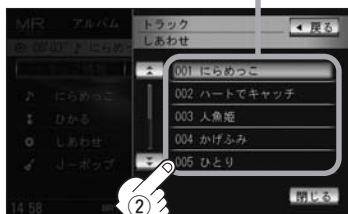
名前順表示の場合(例)



：選択したアルバムに収録されているトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト



：選択した曲を再生します。



アドバース

●アルバムリスト表示(手順①)のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

登録順表示の場合(例)



1. 画面の「登録順」ボタンをタッチする。

：本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は「名前順」ボタンをタッチしてください。(パソコンから転送(チェックアウト)された曲はアルバム名のみ(“アルバムよみ”)が入っていないと正しく名前順に表示されません。アルバム名のみが入っているものをリストより名前順に並び替え、さらにその下により名前が入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。)(アルバムの編集は「 125~127ページ参照)

※初期状態は名前順表示となっています。(登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

●次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

Music Rackを使う(6)

■ **アーティスト** ボタンをタッチした場合

: アーティストリストが表示されます。

①再生させたいアーティストを
タッチする。



: 選択したアーティストのアルバムが
表示されます。

②再生させたいアルバムをタッチする。



: 選択したアルバムに収録されているトラ
ックリストの表示とともに曲が再生され
ます。

③再生させたいトラックをタッチする。



: 選択した曲を再生します。



アドバイス

●次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

●アーティストリスト/アルバムリストには、タイトル名がある(Gracenoteデータベースにヒットした)場合にリストに表示されます。

●アーティストリスト(手順①)/アルバムリスト(手順②)表示のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

1. 画面の **登録順** ボタンをタッチする。

: 本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は **名前順** ボタンをタッチしてください。(アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並べ替えて表示します。

Gracenoteデータベースにヒットし再生画面で正しく表示されている場合でもアーティスト名のよみ("アーティストよみ"の項目を選択し編集画面にしたとき)に何も入っていないとSHIFT-JIS順表示となります。(アルบั้ม/アーティストの編集は125~127ページ参照)

※初期状態は名前順表示となっています。(登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

(登録順表示の場合(例))



■ プレイリスト ボタンをタッチした場合

: プレイリスト画面が表示されます。(本機に転送されていない場合は表示されません。)

- ①再生させたいプレイリストをタッチする。 ②再生させたいトラックをタッチする。



プレイリスト

: 選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



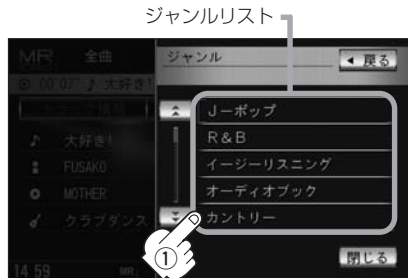
トラック

: 選択した曲を再生します。

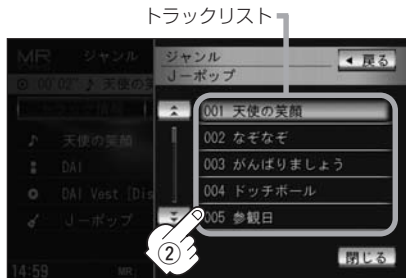
■ ジャンル ボタンをタッチした場合

: ジャンルリストが表示されます。

- ①再生させたいジャンルをタッチする。 ②再生させたいトラックをタッチする。



: 選択したジャンルのトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



: 選択した曲を再生します。



デトハイス

*ジャンル一覧

- | | | | | |
|-----------|-----------|---------|-------------|-------|
| ・J-ポップ | ・クラブダンス | ・パンク | ・ポップ | ・演歌 |
| ・R&B | ・ゴスペル | ・ヒップホップ | ・メタル | ・子供向け |
| ・イーザリスニング | ・サウンドトラック | ・フォーク | ・ラテン | ・その他 |
| ・オーディオブック | ・ジャズ | ・フュージョン | ・レゲエ | |
| ・カントリー | ・テクノ | ・ブルース | ・ロック | |
| ・クラシック | ・ニューエイジ | ・ホリデー | ・ワールドミュージック | |

- ▲ / ▼ ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。
- トラックリストはGracenoteデータベースにヒットした(タイトル情報がある)場合にトラックを表示します。
- トラックのジャンル情報はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。

☞ 「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」 142、143ページ

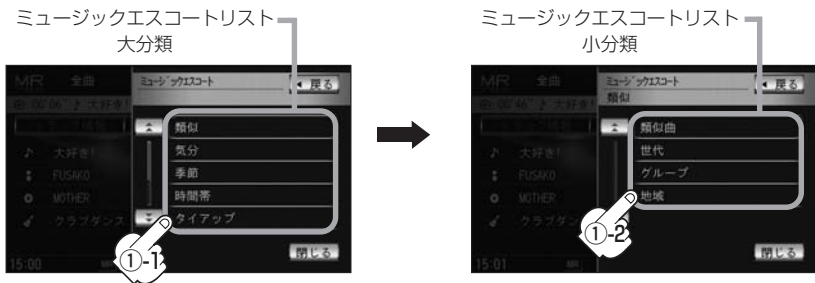
Music Rackを使う(7)

■ **ミュージックエスコート** ボタンをタッチした場合

：ミュージックエスコートリストが表示されます。

①再生させたいミュージックエスコートの大分類、小分類を選択していく。

※大分類/小分類につきましては右記表(アドバイス内)を参照してください。



：選択した小分類のトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

※トラックは10曲まで表示されます。
他の10曲を表示したい場合は再選曲をしてください。
(下記)

□ **再選曲** をする場合

再生モード選択画面のとき、再生させる曲を選択しなおすことができます。

※再生モード選択画面はMusic Rackモード TOP画面のとき **再生モード** ボタンをタッチして表示させます。
(122ページ)



1. **再選曲** ボタンをタッチする。

：選択中の小分類の中から本機が再選曲しなおし、曲を再生します。

選択時表示灯点灯

初期状態は“自動選曲”に設定されています。
自動選曲が選択されていると、選択した小分類のトラックリストを再生し終わると、自動で小分類の中から再選曲を行ないます。



アドバイス

- ミュージックエスコートの各分類は以下のとおりとなります。

大分類	小分類
類似	類似曲／世代／グループ／地域
気分	ノリノリ／リラックス／レジャー／ロマンティック／クール
季節	春／夏／秋／冬
時間帯	早朝／朝／昼／夜／深夜
タイアップ	CMソング／ドラマ主題歌／ゲームソング／映画主題歌／テレビ主題歌
シチュエーション	海沿い／都市／ハイウェイ／雨／晴れ／雪
イベント	クリスマス／バレンタイン／卒業／誕生日／入学／結婚
年代	60年代／70年代／80年代／90年代／00年代

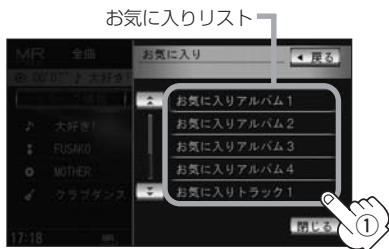
- ミュージックエスコートにはMCDB (CD収録属性) を利用した主観的楽曲 (テンポ・シチュエーション・季節など) が自動でふり分けられます。多角的な管理の実現により気分に合わせて選曲が可能です。
- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 再生させたいミュージックエスコートを選択した場合ランダム／スキャン再生はできません。
 122、123ページ
- トラックリストはGracenoteデータベース／MCDBデータベースにヒットした (タイトル情報がある) 場合にトラックを表示します。
- トラックリストに表示されるトラックはミュージックエスコートを選択するごとに再編成され任意に決めるため、同じ並びでリスト表示されるとは限りません。
- 楽曲によってはユーザーの主観とは違う分類にふり分けられることがあります。
- 類似曲を検索してもユーザーの主観とは異なる楽曲が選択されることがあります。
- ミュージックエスコートリストの
 - ・類似曲とは現在の再生曲に類似した曲
 - ・世代とは再生曲のアーティストが活動した年代の曲
 - ・グループとは再生曲のアーティストタイプ (ソロ／デュエット／グループ) の曲
 - ・地域とは再生曲のアーティストが活動した地域の曲
 - ・年代とは再生中のアルバムが発表された年代の曲
 を基準としてトラックリストを作成します。
- トラックのミュージックエスコート属性はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。
 「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」142、143ページ

Music Rackを使う(8)

■ お気に入り ボタンをタッチした場合

: お気に入りリストが表示されます。

- ①再生させたいお気に入りアルバム1~4またはお気に入りトラック1~4をタッチする。



• Music RackモードのTOP画面で **登録** ボタンをタッチしてお気に入り登録をしていないと、下記手順1.以降の操作はできません。

• 1つのお気に入りアルバムに200アルバム、1つのお気に入りトラックに200曲の登録が可能です。

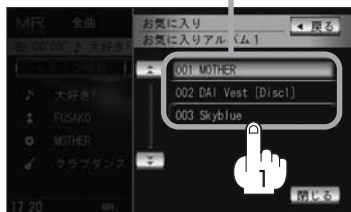
▶ 「再生中の曲をお気に入り登録する」
140、141ページ

□ お気に入りアルバム1 をタッチした場合

: お気に入りアルバム1に収録されているアルバムリストを表示します。

1. 再生したいアルバムをタッチする。

お気に入りアルバム1の
アルバムリスト



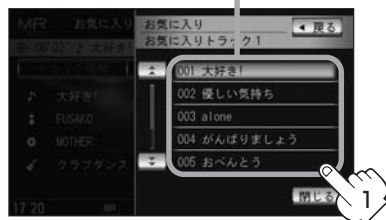
: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

□ お気に入りトラック1 をタッチした場合

: お気に入りトラック1に収録されているトラックリスト表示とともにリストの1番上の曲が再生されます。

1. 再生させたいトラックをタッチする。

お気に入りトラック1の
トラックリスト画面



: 選択した曲を再生します。

2. 再生させたいトラックをタッチする。

お気に入りアルバム1の
トラックリスト画面



: 選択した曲を再生します。



次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

3

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



ヘッドバイス

ジャンルリスト (P 117ページ)、ミュージックエスコートリスト (P 118ページ)、お気に入りリスト (P 120ページ)で再生させたいジャンル、ミュージックエスコート、お気に入り登録曲を選択したとき該当するトラックがない(Gracenoteデータベース/MCDBデータベースにヒットしない、またはお気に入り登録していない)場合、リストには何も表示されません。("—"となります。)

Music Rackを使う(9)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1 画面の再生モード ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順 2 で選択した再生モードがマーク表示されます。

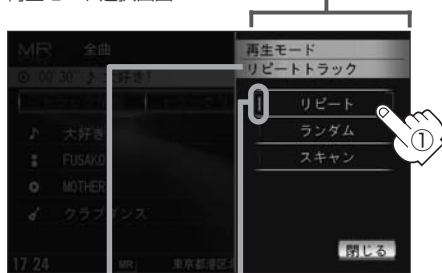


2 再生したいモード(リピート/ランダム/スキャン ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① リピート ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

：表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯/
TOP画面のとき REPEAT TRACK マーク表示有)

通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯/マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① ランダム ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

：表示灯点灯し、リスト内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの曲をランダム再生

(表示灯点灯/
TOP画面のとき RANDOM マーク表示有)

通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯/マーク表示無)

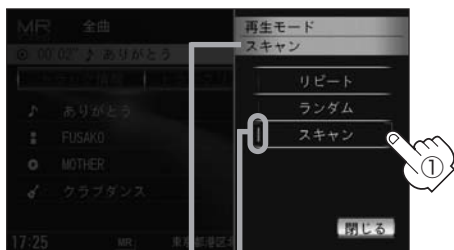


- ランダム再生は次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。
- 選曲モード(114ページ)の中で **ミュージックエスコート** を選択しているときランダム再生はできません。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯の状態を表示

: 表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチすることにより用途が変わります。

ディスク内の曲をスキャン再生

(表示灯点灯/
TOP画面のとき **SCAN** マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯/マーク表示無)



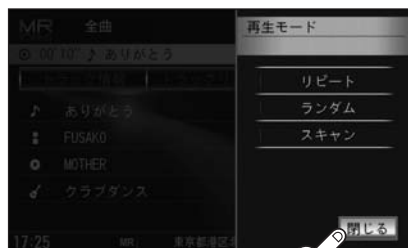
アドバイス

- スキャン解除をすると、再生中の曲で通常再生を続けます。
- 選曲モード(114ページ)の中で **ミュージックエスコート** を選択しているときスキャン再生はできません。

3

設定を終わるには…
画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

: TOP画面に戻ります。



アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

Music Rackを使う(10)

アルバムリストの編集(曲管理)

アルバム名の変更や再生選択、お気に入り登録、アルバムの削除などを行うことができます。また、ジャンルの変更やデータベースの再検索なども行うことができます。

1

画面の **編集** ボタンをタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。



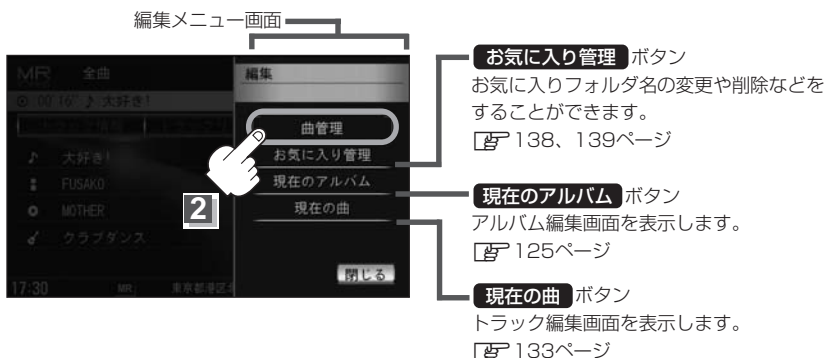
2

編集メニューより **曲管理** ボタンをタッチする。

：曲管理画面が表示されます。

※Music Rack再生中は編集メニューのボタンは選択できません。

はい ボタンをタッチして再生を停止してください。



3

編集したいアルバムを選択し、操作したいボタン(**アルバム編集** / **再生選択**

／ **お気に入り登録** / **削除**) をタッチします。

- ノートパソコンを接続(BeatJamを使用*)して転送(チェックアウト)したデータで、アルバム情報がない曲の場合にタッチします。(132ページ)

- ★ : BeatJamを使用するには別売のUSB接続コード&BeatJamが必要です。📄 19ページ




* : トラックの編集(**トラック表示** ボタンにつきまして)は

📄 「 **トラックリストの編集(曲管理)** 」132~137ページを参照してください。

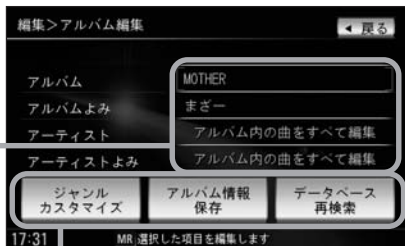
■ アルバム編集 ボタンをタッチした場合


：アルバム編集画面が表示されます。

アルバム編集画面ではタイトル名の編集のほか、ジャンルの変更やアルバム情報の保存、データベースの再検索をすることができます。

タイトル名の編集をする場合は
 下記～127ページ参照

アルバム編集画面



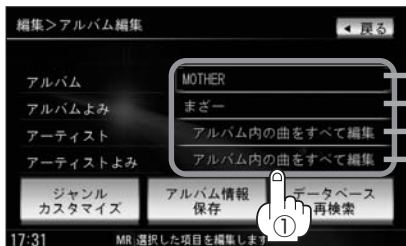
好きなジャンルに変更したりアルバム情報の保存やデータベースの再検索をする場合は
 128、129ページ参照

□ タイトルの編集をするときは…

① 編集したい項目をタッチする。

※アルバム名／アーティスト名や、アルバム名／アーティスト名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

アルバム編集画面






アルバム名
 アルバム名の読みがな(読みかた)
 アーティスト名
 アーティスト名の読みがな(読みかた)

：タイトル編集画面が表示されます。



アドバイス

- “アルバムよみ”の項目をタッチすると再生画面にて表示されているアルバム名をかな読み表示します。
- アーティスト名(**アルバム内の曲をすべて編集**)は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。
 ※選択しているアルバムのアーティスト名が一括で変更となります。
- アルバム編集画面の情報はアルバムリスト画面( 115ページ) / アーティストリスト画面( 116ページ) の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- アーティスト名 / アーティスト名の読みがなを入力しても編集画面には表示されません。変更状態はトラック編集画面( 133ページ) から確認することができます。
 ※再生画面(Music Rackモード TOP画面の詳細表示)からアーティスト名の確認ができます。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** をタッチしてください。

Music Rackを使う(11)

②入力する。

※入力できる文字数は全角32(半角64)文字です。

番号順に操作してください。

ひらがなとカタカナを入力する場合

例「わわ」と入力する場合

← → ボタンをタッチしてカーソルの位置を変えることができます。

1 **わ** ボタンをタッチする。
:画面上部に、「わ」があらわれます。

3 **ワ** ボタンを選び、タッチする。
(画面上部に、「ワ」があらわれる。)

1文字分のスペースを空けます。

タイトル編集画面



50音パレット

入力した文字を訂正する場合

① **訂正** ボタンをタッチする。

: 1文字消去します。

※全ての文字を訂正する場合は、**訂正** ボタンを1.5秒以上タッチします。

②正しい文字を入力する。

2 **カナ** ボタンをタッチする。
: 50音パレットがカタカナに変わります。

※タッチするたびに



小文字に変換したい場合

小文字 ボタンをタッチする。

: 50音パレットが選択可能な文字のみ小文字に変わります。

※タッチするたびに **小文字** ↔ **大文字** と切り替わります。
用途にあわせて切り替えてください。

漢字を入力する場合

例「桜」を入力する場合

漢字に変換するひらがなの範囲を変えたい場合に ← → ボタンを選択します。



- 1 **さ** **く** **ら** ボタンをタッチする。
:画面上部に「さくら」と表示されます。

- 2 **変換** ボタンをタッチする。
:さくらに該当するリストが表示されます。



- 3 **桜** ボタンをタッチする。
:画面上部に「桜」と表示されます。
※リストをタッチする前に **閉じる** ボタンをタッチすると何も選択しないままリストを閉じます。

- 次ページがある場合 ▲ / ▼ ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

※ **無変換** ボタンをタッチすると入力したひらがなを漢字に変換せず、確定します。

※ **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

③入力が終わったら…

決定 ボタンをタッチする。

: 変更が保存され、アルバム編集画面に戻ります。

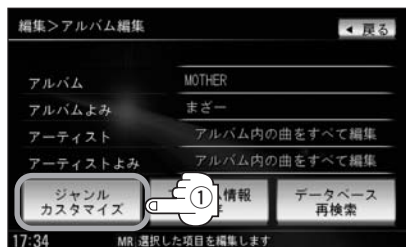


Music Rackを使う(12)

- **ジャンルを変更するときは…** ※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

① **ジャンルカスタマイズ** ボタンをタッチする。

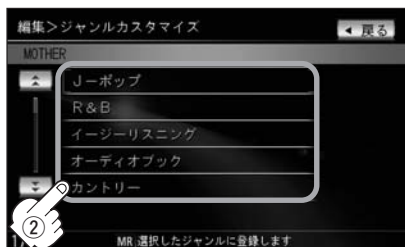
アルバム編集画面



: ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

② **好きなジャンルボタン**をタッチする。

ジャンルカスタマイズ画面

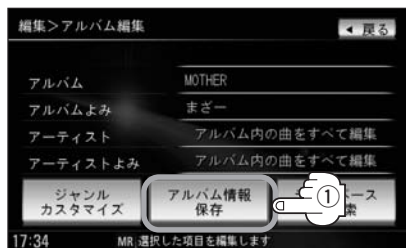


: 選択中アルバムのジャンルは変更され、アルバム編集画面に戻ります。

- **アルバム情報を保存するときは…** ※本機(HDD)に収録されていないタイトル情報を本機のGracenoteデータベースフォルダに保存します。

① **アルバム情報保存** ボタンをタッチする。

アルバム編集画面



: アルバム情報を保存し、アルバム編集画面に戻ります。



アドバイス

保存した情報はカスタムアップデートをすることによって未収録だったタイトルを付加(取得)することができます。

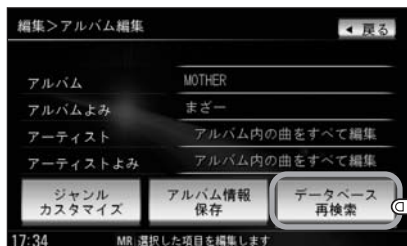
カスタムアップデート

1. Gracenote音楽認識サービスよりタイトル情報を取得する。(P.61ページ①～⑤)
2. データベース再検索を行なって取り込んだタイトル情報を本機で反映する。(P.62ページ⑥、⑦)

□ データベースから再検索するときは…

- ① **データベース再検索** ボタンを
タッチする。

アルバム編集画面



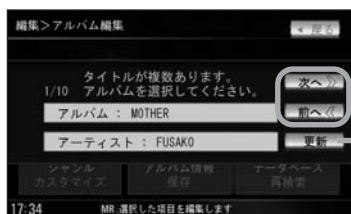
※誤ったタイトル(アルバム名/アーティスト名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

: タイトル情報を更新し、アルバム編集画面に戻ります。



アドバイス

データベース再検索をしたときタイトル情報が複数ある場合は好きなアルバム名を選択することができます。
※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入りできない場合があります。



- 1 **次へ** / **前へ** ボタンをタッチして次のアルバム名を表示させることができます。
- 2 上書きするアルバム名が決まったら **更新** ボタンをタッチします。

BeatJamから転送(チェックアウト)された音楽データは“データベース再検索” および “アルバム情報を保存” は機能しません。

Music Rackを使う(13)

- **再生選択** ボタンをタッチした場合 ※✓マークのアルバムのみ再生させることができます。

: 再生選択画面が表示されます。

①再生させたくないアルバムをタッチする。

再生選択画面(例)



アルバムを一括で選択することができます。
(すべてのアルバムにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したアルバムを止める(取り消す)ことができます。
(すべてのアルバムのチェックマーク(✓)を消します。)

アルバムをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

表示: このアルバムは再生されません。

表示: このアルバムは再生されます。

②画面の**決定** ボタンをタッチする。



: 曲管理画面( 124ページ)に戻ります。



アドバイス

●✓マークを外して再生しない設定にしても、本機(Music Rack)内の音楽(アルバム)は存在したままとなります。また、ジャンル/プレイリスト/ミュージックエスコート/お気に入りのリストには反映されません。

●本機の登録アルバム数が100以上の場合、再生選択画面に**前へ** / **次へ** ボタンが表示されます。

※ **前へ** / **次へ** ボタンをタッチして100アルバムごとの再生選択をしてください。

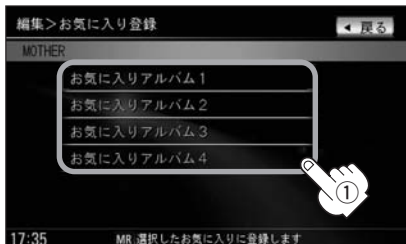
■ **お気に入り登録** ボタンをタッチした場合

※アルバムリスト(☞P115ページ)より好きなアルバムを選び、お気に入り登録することができます。

: お気に入り登録画面が表示されます。

①登録したい場所(お気に入りアルバム1~4)をタッチする。

お気に入り登録画面



: 選択したお気に入りにアルバムが登録され、曲管理画面(☞P124ページ)に戻ります。



アドバイス

- 1つの“お気に入りアルバム”に登録できるアルバム数は200です。合計800アルバムの登録が可能です。
- トラックリストより好きなトラックを選び、お気に入り登録するには132ページ手順 **1**、**2** と137ページを参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。
☞P「再生中の曲をお気に入り登録する」140、141ページ

■ **削除** ボタンをタッチした場合

※アルバムを削除することができます。

: 選択したアルバムを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチしてください。



※削除しない場合は **いいえ** ボタンをタッチしてください。



お願い

削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたり I (ACC)の状態から II (ON)にしてエンジンを始動したり電源をOFF状態にしたり)をしないでください。

他の操作をすると故障の原因となります。

※アルバムを削除すると、お気に入り登録したアルバムやトラックも削除されます。



アドバイス

- 次ページがある場合 **▲** / **▼** ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

Music Rackを使う(14)

トラックリストの編集(曲管理)

アーティスト名/トラック名の変更や、再生選択、お気に入り登録、トラックの削除をすることができます。

- 1** 124ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のとき編集したいアルバムを選択し、**トラック表示** ボタンをタッチする。

：曲管理のトラック表示画面が表示されます。

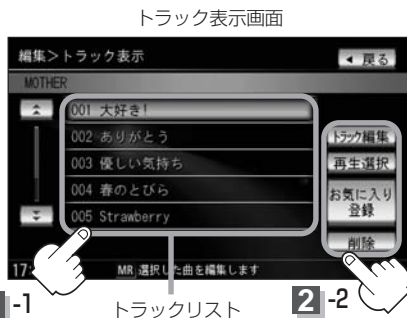
ノートパソコン接続(BeatJamを使用*)して本機にデータを転送したとき、アルバム情報がない曲がある場合にその曲の編集をすることができます。

アルバム情報がない曲 タッチ→**トラック表示** タッチ→下記手順 **2** の操作が可能

★：BeatJamを使用するには別売のUSB接続コード&BeatJamが必要です。[P.19ページ]



- 2** 編集したいトラックを選択し、操作したいボタン(**トラック編集** / **再生選択** / **お気に入り登録** / **削除**)をタッチする。



編集したいトラックを選択しなくしても **再生選択** ボタンはタッチ(操作)することができます。

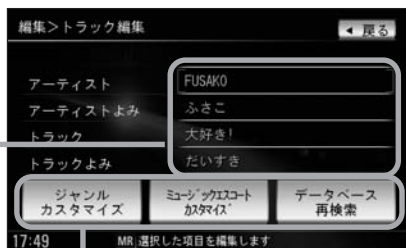
■ トラック編集 ボタンをタッチした場合

：トラック編集画面が表示されます。

トラック編集画面ではタイトル名の編集のほか、ジャンルやミュージックエスコートの変更、データベースの再検索(タイトル情報の上書き)をすることができます。

タイトル名の編集をする場合は
下記参照

トラック編集画面



お好きなジャンルやミュージックエスコートに変更したりデータベースの再検索をする場合は
P 134、135ページ参照

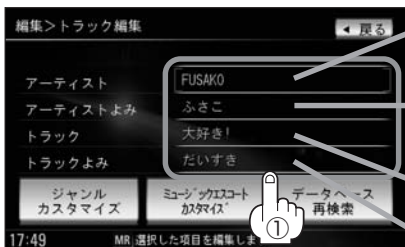
□ タイトルの編集をするときは…

※アーティスト名/トラック名や、アーティスト名/トラック名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

① 編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

トラック編集画面



アーティスト名

アーティスト名の読みがな
(読みかた)

トラック名

トラック名の読みがな
(読みかた)



アドバイス

- “アーティストよみ” / “トラックよみ”の項目をタッチすると再生画面にて表示されているアーティスト名 / トラック名をかな読みにて表示します。
- アーティスト名は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。(再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。
- トラック編集画面の情報はアーティストリスト画面 (P 116ページ)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** ボタンをタッチしてください。

② 入力する。

※入力のしかたは126、127ページを参考にしてください。

Music Rackを使う(15)

□ **ジャンルを変更するときは…** ※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

① **ジャンルカスタマイズ** ボタンをタッチする。

トラック編集画面

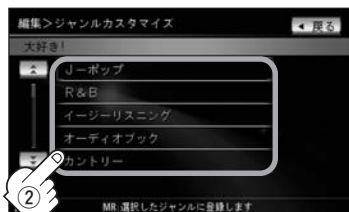


: ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

② **好きなジャンルボタンをタッチする。**

※ジャンルの種類につきましては[P.117ページ]アドバイスを参照してください。

ジャンルカスタマイズ画面

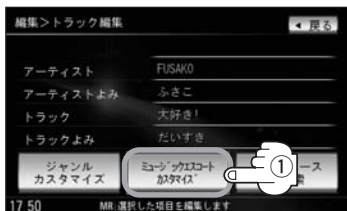


: 選択中トラックのジャンルは変更され、トラック編集画面に戻ります。

□ **ミュージックエスコート(分類)を変更するときは…** ※本機によってふり分けられたミュージックエスコートの分類を変えたい場合に使用します。

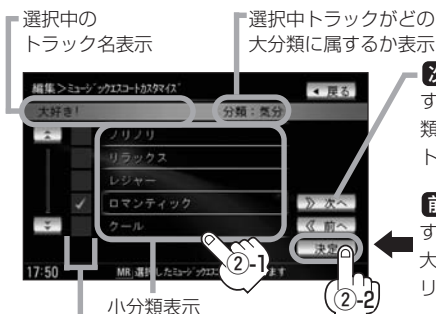
① **ミュージックエスコートカスタマイズ** ボタンをタッチする。

: ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。

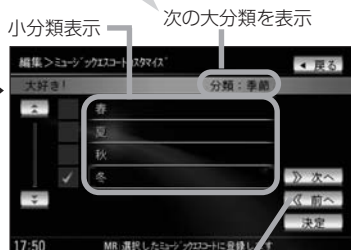
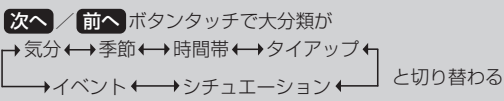


② **リストより小分類を選択し、決定** ボタンをタッチする。

ミュージックエスコートカスタマイズ画面



リストをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。
□表示: 設定されていません。/✓表示: 設定されています。



: ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、TOP画面に戻ります。

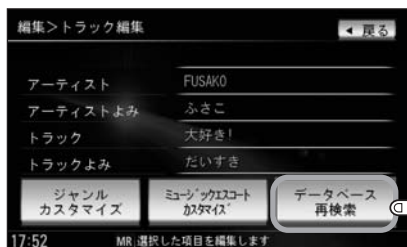
※ミュージックエスコートの大分類/小分類(一覧)につきましては[P.119ページ]の表を参照してください。

※ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき1つずつしか属性を設定できません。

□ データベースから再検索するときは…

① データベース再検索 ボタンをタッチする。

トラック編集画面



※誤ったタイトル(アーティスト名/トラック名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)

編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

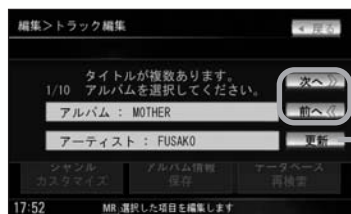
: タイトル情報を更新し、トラック編集画面に戻ります。



アドバイス

タイトル情報が複数ある場合は好きなアルバム名を選択することができます。

※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。



1 **次へ** / **前へ** ボタンをタッチして次のアルバム名を表示させることができます。

2 上書きするアルバム名が決まったら **更新** ボタンをタッチします。

BeatJamから転送(チェックアウト)された音楽データは“データベース再検索”は機能しません。

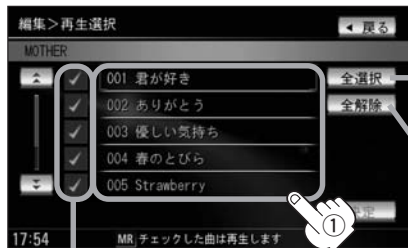
Music Rackを使う(16)

- **再生選択** ボタンをタッチした場合 ※✓マークのトラックのみ再生させることができます。

: 再生選択画面が表示されます。

①再生させたくないトラックをタッチする。

再生選択画面(例)



トラックを一括で選択することができます。
(すべてのトラックにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したトラックを止める(取り消す)ことができます。
(すべてのトラックのチェックマーク(✓)を消します。)

トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示: このトラックは再生されません。

✓表示: このトラックは再生されます。

②画面の**決定** ボタンをタッチする。



: 曲管理のトラック表示画面に戻ります。



アドハイス

- ✓マークを外して再生しない設定にしても、本機(Music Rack)内の音楽(トラック)は存在したままとなります。また、ジャンル/プレイリスト/ミュージックエスコート/お気に入りのリストには反映されません。
- 本機の実選択アルバム内のトラック数が100以上の場合、再生選択画面に **前へ** / **次へ** ボタンが表示されます。
- ※ **前へ** / **次へ** ボタンをタッチして100トラックごとの再生選択をしてください。

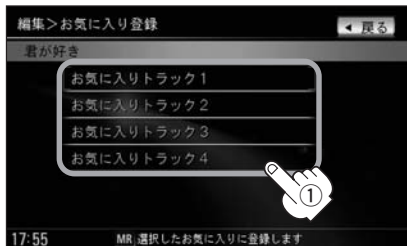
お気に入り登録 ボタンをタッチした場合

※トラック表示画面(132ページ)より好きなトラックを選び、お気に入り登録することができます。

：お気に入り登録画面が表示されます。

① 登録したい場所(お気に入りトラック1~4)をタッチする。


お気に入り登録画面



：選択したお気に入りにトラックが登録され、曲管理のトラック表示画面に戻ります。



アドバイス

- 1つの“お気に入りトラック”に登録できるトラック数は200です。合計800曲の登録が可能です。
- アルバムリストより好きなアルバムを選び、お気に入り登録するには124ページ手順 1 ~ 3 と131ページを参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。
 140、141ページ

削除 ボタンをタッチした場合

※トラックを削除することができます。

：選択したトラック(曲)を削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチしてください。



※削除しない場合は **いいえ** ボタンをタッチしてください。



お願い



削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを0(OFF)にしたり I (ACC)の状態から II (ON)にしてエンジンを始動したり電源をOFF状態にしたり)をしないでください。

他の操作をすると故障の原因となります。

※トラックを削除すると、お気に入り登録したトラックも削除されます。



アドバイス

- 次ページがある場合  /  ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。
- 画面の **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

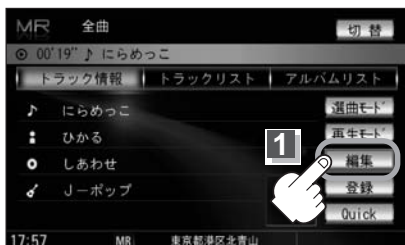
Music Rackを使う(17)

お気に入り管理する

お気に入りフォルダ(お気に入りアルバム1~4/お気に入りトラック1~4)の名前の変更やお気に入りフォルダ内の(アルバム/トラックの)削除をすることができます。

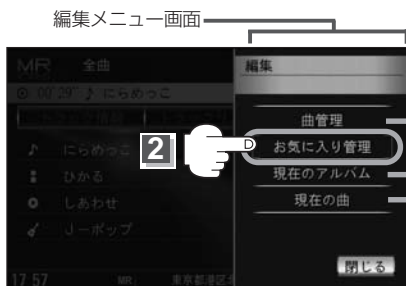
1 画面の **編集** ボタンをタッチする。

: 画面右側に編集メニューが表示されます。



2 編集メニューの **お気に入り管理** ボタンをタッチする。

※Music Rack再生中は編集メニューのボタンを選択できません。**はい** ボタンをタッチして再生を停止してください。



曲管理 ボタン

アルバムの再生選択や編集や削除、お気に入り登録などをすることができます。

[P] 124~137ページ

現在のアルバム ボタン

アルバム編集画面を表示します。

[P] 125ページ

現在の曲 ボタン

トラック編集画面を表示します。

[P] 133ページ

: お気に入り管理画面が表示されます。

3 編集したいお気に入りフォルダ

(**お気に入りアルバム1** ~ **お気に入りアルバム4**

または **お気に入りトラック1** ~ **お気に入りトラック4**)

ボタンを選択し、操作したい

(**フォルダ内表示** / **フォルダ名編集** / **削除**)

ボタンをタッチします。



お気に入りリストは4つのお気に入りアルバムフォルダと4つのお気に入りトラックフォルダがあり、1フォルダに最大200アルバムおよび200曲の登録が可能です。

[P] 131、137、140、141ページを参照してください。

フォルダ内表示 ボタンをタッチした場合

(選択したアルバムまたはトラックの削除)

: フォルダ内表示画面が表示されます。

- ① 削除するには削除したいアルバムまたはトラックを選択し、**削除** ボタンをタッチする。

フォルダ内表示画面



手順 **3** で選択したフォルダ内の情報 (内容) を表示

※選択したお気に入りフォルダ内の確認とアルバムまたはトラックの削除をすることができます。

- ② 削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。



: 選択したアルバムまたはトラックを削除し、フォルダ内表示画面に戻ります。

フォルダ名編集 ボタンをタッチした場合

: タイトル編集画面が表示されます。

- ① 画面の50音パレットを使って入力し、**決定** ボタンをタッチする。

※入力のしかたは126、127ページを参考にしてください。

※タイトル(お気に入りアルバム1~4/お気に入りトラック1~4の名前)を変更することができます。



削除 ボタンをタッチした場合

※選択したお気に入りフォルダ (アルバム1~4/トラック1~4)内の曲を一括で削除することができます。

(1フォルダ(最大200アルバム)ごとの削除)

- ① 削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。

: 選択したお気に入りフォルダ内の曲を全て削除し、お気に入り管理画面に戻ります。



ヘッドバイス

- 次ページがある場合 **↑** / **↓** ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 削除中は他の操作 (モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを0(OFF)にしたり電源を切ったりなど) をしないでください。故障の原因となります。

Music Rackを使う(18)

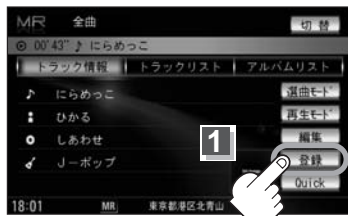
再生中の曲をお気に入り登録する

再生中の曲をお気に入り登録してオリジナルリスト(お気に入りのアルバムだけを集めた“お気に入りアルバム”／お気に入りの曲だけを集めた“お気に入りトラック”)を作成することができます。

1

画面の**登録** ボタンをタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。



2

画面の**お気に入り** ボタンをタッチする。

※Music Rack再生中はお気に入り登録できません。

はい ボタンをタッチして再生を停止してください。



ジャンル ボタン

1曲またはアルバムのジャンルを変えたいときに使用します。

☞P 142ページ参照

ミュージックエスコート ボタン

再生中トラックのミュージックエスコートの小分類を変えたいときに使用します。

☞P 142、143ページ参照

3

再生中トラックのアルバムを登録したい場合は

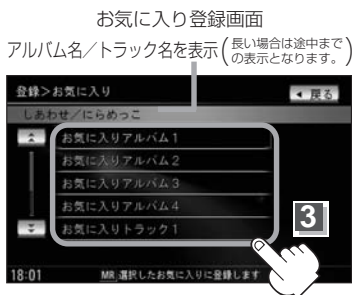
お気に入りアルバム1 ～ **お気に入りアルバム4** ボタ

ンの中から、再生中トラックを登録したい場合は




お気に入りトラック1 ～ **お気に入りトラック4** ボタ

ンの中から登録したい場所をタッチする。

：選択したお気に入りに登録され、手順**1**の画面に戻ります。

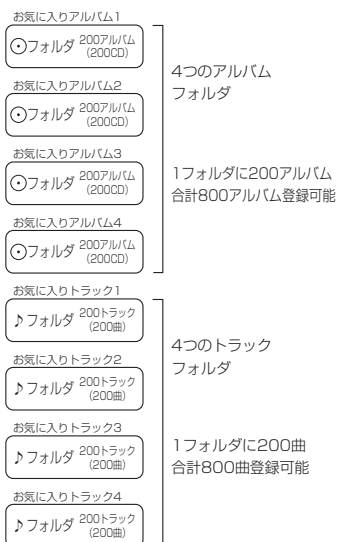




- 1つのお気に入りフォルダに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。
- お気に入りフォルダの名前を変更したり登録したアルバムやトラックを削除することができます。
 「**お気に入り管理する**」 138、139ページ、
- 再生していない曲をリストより選択してお気に入り登録することもできます。
- ・アルバムを登録するときは
 「**アルバムリストの編集(曲管理)**」 124ページ
 手順 **1** ~ **3** と131ページ
 ■ **お気に入り登録 ボタンをタッチした場合** にしたがって操作する。
- ・トラックを登録するときは
 「**トラックリストの編集(曲管理)**」 132ページ
 手順 **1**、**2** と137ページ
 ■ **お気に入り登録 ボタンをタッチした場合** にしたがって操作する。
- パソコン上にあるBeatJamのデータを転送(チェックアウト)したとき、Gracenote音楽認識サービスから曲情報を取得できなかった場合はお気に入りアルバムに登録できません。

★：BeatJamを使用するには別売のUSB接続コード&BeatJamが必要です。  19ページ

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成



Music Rackを使う(19)

再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する

本機によって分けられたミュージックエスコートの分類やジャンルをお好みにあわせて設定しなおす(カスタマイズする)ことができます。

1 画面の「登録」ボタンをタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。



2 設定(カスタマイズ)しなおしたい(「ジャンル」/「ミュージックエスコート」)ボタンをタッチする。

※Music Rack再生中は設定できません。

「はい」ボタンをタッチして再生を停止してください。

■ ジャンルを変更したい場合

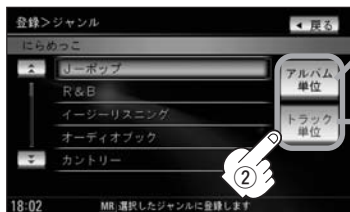
① 「ジャンル」ボタンをタッチする。

：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

登録メニュー



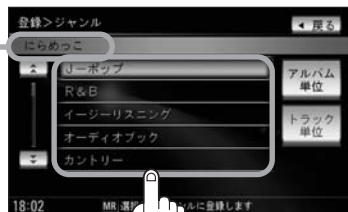
② 「アルバム単位」または「トラック単位」ボタンをタッチする。



選択中アルバムのジャンル変更となります。

選択中トラックのジャンル変更となります。

③ お好きなジャンルをタッチする。



選択中のトラック名またはアルバム名を表示

：ジャンルは変更(登録)されTOP画面に戻ります。

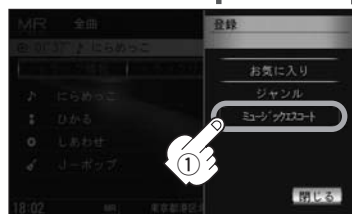
※ジャンルの種類につきましては117ページアドバイス内「*ジャンル一覧」を参照してください。

■ ミュージックエスコートの分類を変更したい場合

① ミュージックエスコート ボタンをタッチする。

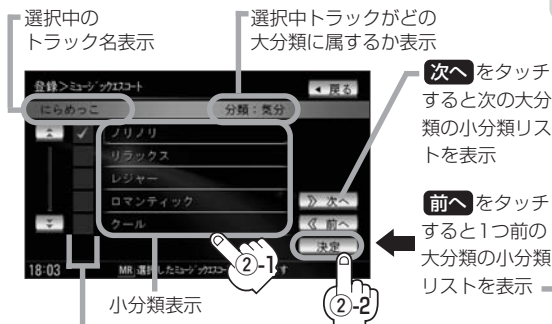
：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。

登録メニュー



② リストより小分類を選択し、**決定** ボタンをタッチする。

ミュージックエスコートカスタマイズ画面

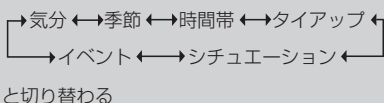


リストをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

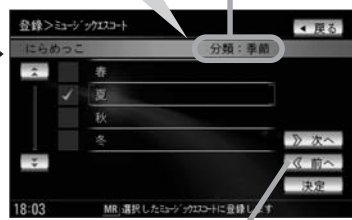
□表示：設定されていません。

✓表示：設定されています。

次へ / 前へ ボタンタッチで大分類が



次の大分類を表示



：ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、TOP画面に戻ります。

ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき1つずつしか属性を設定できません。

分類						
大分類	気分	季節	時間帯	タイアップ	シチュエーション	イベント
小分類	ノリノリ/ リラックス/ レジャー/ ロマンティック/ クール	春/夏/秋/冬	早朝/朝/昼/ 夜/深夜	CMソング/ ドラマ主題歌/ ゲームソング/ 映画主題歌/ テレビ主題歌	海浴い/都市/ ハイウェイ/ 雨/晴れ/雪	クリスマス/ バレンタイン/ 卒業/誕生日/ 入学/結婚



アドバンス

- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- **↑** **↓** ボタンタッチでページ戻し/送り表示することができます。

